

## II 調査結果

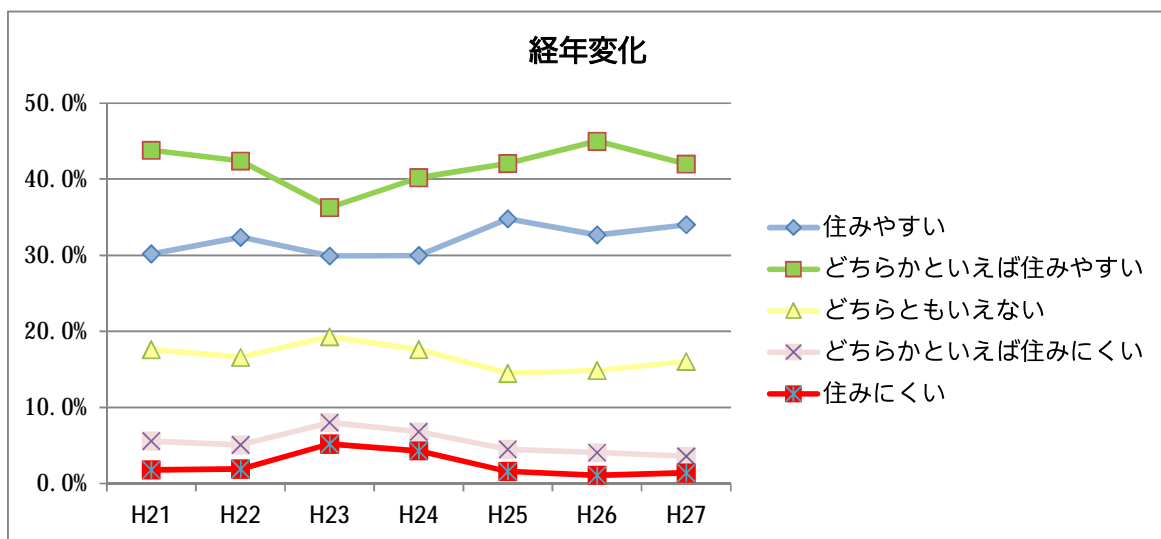
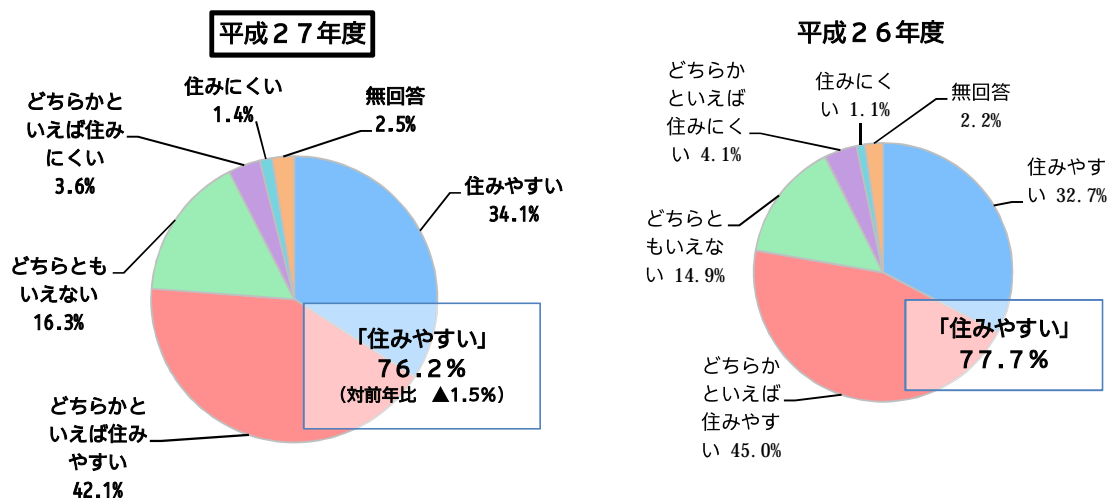
### 1 まとめ

#### (1) まちの住み心地について

本市は、「住みやすく」、これからも「住み続けたい」まちです。

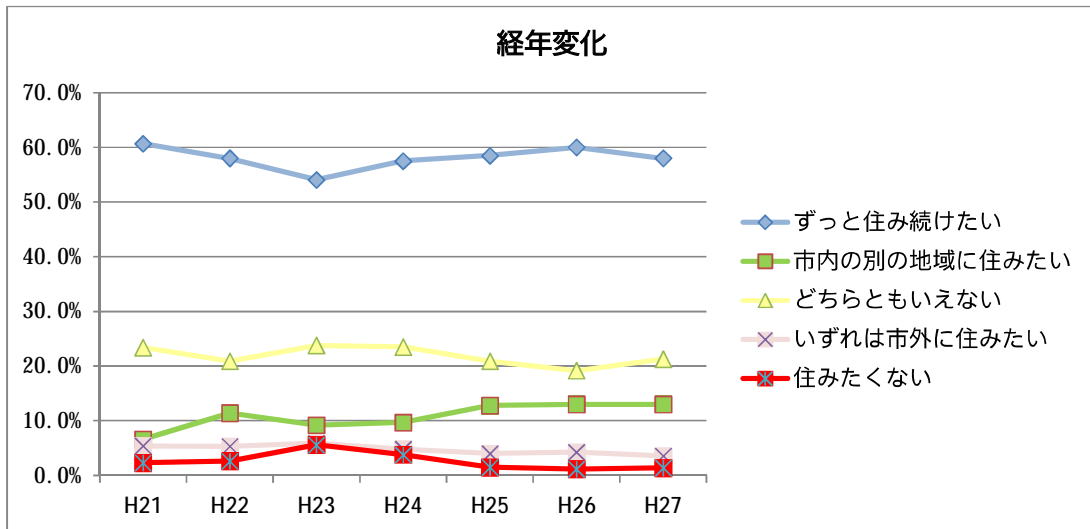
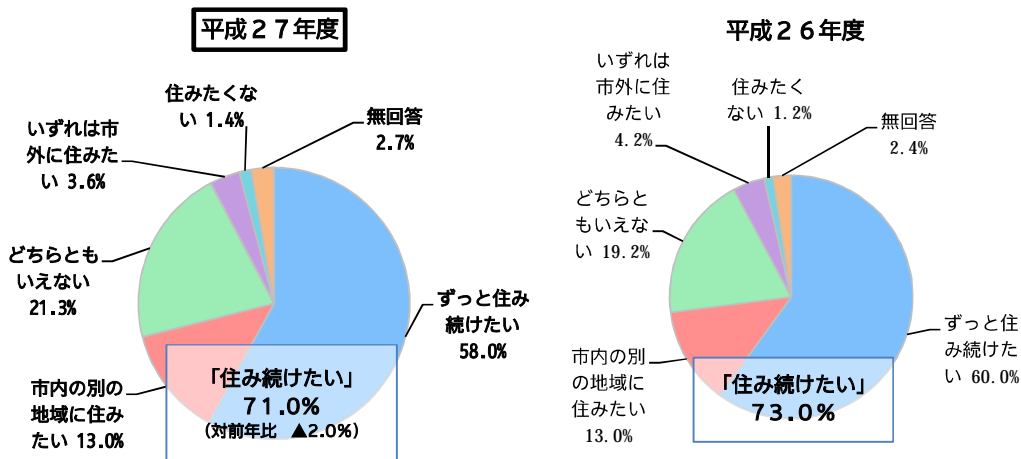
#### 《住みやすいまちですか》

郡山市が住みやすいかをたずねたところ、「住みやすい」は34.1%で、「どちらかといえば住みやすい」の42.1%と合わせると76.2%と、昨年度同様、約8割の方が郡山市は「住みやすい」まちと思っています。



《今後も住み続けたいですか》

郡山市に今後も住みたいかをたずねたところ、「ずっと住み続けたい」は58.0%で、「市内の別の地域に住みたい」の13.0%を合わせると71.0%と、昨年度同様、7割を超える方が、郡山市に「住み続けたい」と思っています。



【まちの住み心地に寄せられた主な意見】

- ・郡山は自分にとって、住みやすい街であると思う。他の県の友人からも「いい街」だと言われることもある。(20代・男性)
- ・結婚し郡山市民となりました。転勤で県外に住んだこともありましたが、郡山が一番住みやすいと感じています。(20代・女性)
- ・郡山はもっともっと魅力的な街になれるはずですよ。子どもたちがずっと住みたいと思ってくれるような街にしてください。(30代・女性)
- ・幼少の頃の郡山駅前の活気を取り戻せば、明るく住み良い魅力ある街になると思う。(50代・女性)
- ・安心して子育てができ、老後の生活が健康で経済的にも生活ができる郡山市であってほしいです。(70歳以上・女性)

(2) まちづくりについて【満足度】

現在のまちづくりに対する満足度については、市民生活の基礎となる「教育」、「文化」や「保健」、「衛生」が上位となっています。

郡山市が進めているまちづくりについて、42項目（2ページ）をあげて満足度をたずねたところ、教育文化分野（音楽都市こおりやま、生涯学習）や保健衛生分野（医療、健康づくり、生活衛生、ごみ対策）など、市民生活の基礎となる項目が上位を占めています。

さらに、「除染」（8位←26位）や「自然環境」（10位←12位）が昨年度から順位を上げており、原子力災害への取り組みが評価されたものと思われます。

【平成27年度】

順位	前年度順位	項目
1位	(1位)	音楽都市こおりやま
2位	(3位)	生涯学習
3位	(2位)	医療
4位	(4位)	広聴広報
5位	(8位)	ごみ対策
5位	(8位)	歴史・文化芸術
7位	(5位)	生活衛生
8位	(5位)	健康づくり
8位	(26位)	除染
10位	(12位)	自然環境

【平成26年度】

順位	項目
1位	音楽都市こおりやま
2位	医療
3位	生涯学習
4位	広聴広報
5位	生活衛生
5位	健康づくり
7位	乳幼児教育
8位	歴史・文化芸術
8位	ごみ対策
10位	学校教育



(3) これからの取り組みについて【重要度】

これから重点的に取り組んでほしい項目は、「高齢者・障がい者福祉」や「子育て」などの少子高齢化対策のほか、「計画的なまちづくり」や「交通・道路」などインフラ整備への取り組みが上位となっています。

郡山市が進めているまちづくり42項目（2ページ）について、重要度をたずねたところ、保健福祉分野（高齢者・障がい者福祉、子育て、医療）など、市民生活に密着した項目が上位を占めており、引き続き少子高齢化への早急な対応が求められています。

また、「計画的なまちづくり」や「交通・道路」など、生活の基盤となるインフラ整備に向けた取り組みが順位を上げました。

【平成27年度】

順位	前年度順位	項目
1位	(1位)	高齢者・障がい者福祉
2位	(3位)	学校教育
3位	(2位)	子育て
4位	(5位)	医療
5位	(5位)	雇用促進
5位	(7位)	計画的なまちづくり
7位	(13位)	交通・道路
8位	(12位)	防犯・交通安全・消費者対策
9位	(9位)	青少年の健全育成
10位	(15位)	産業創出

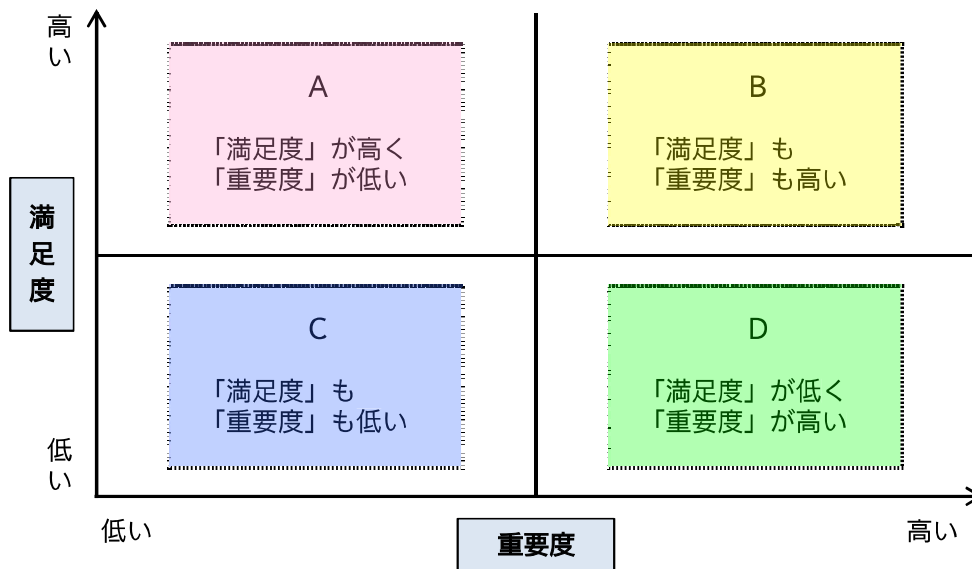
【平成26年度】

順位	項目
1位	高齢者・障がい者福祉
2位	子育て
3位	学校教育
4位	除染
5位	医療
5位	雇用促進
7位	計画的なまちづくり
8位	新エネルギー
9位	青少年の健全育成
10位	健康管理



＜＜満足度と重要度の散布図＞＞

本市のまちづくり（取り組み）における項目間の相対的な位置付けを整理するため、「満足度」を縦軸、「重要度」を横軸にとり、各項目の「満足度」「重要度」の数値を散布図に示しました。「満足度」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



- A： 維持領域  
重要度は低いが満足度が高い取り組みは、現状を維持していく項目
- B： 重要維持領域  
重要度が高い取り組みに満足しているということは、引き続き重点的に維持していく項目
- C： 要検討領域  
重要度も満足度も低い取り組みは、市民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目
- D： 重要改善領域  
重要度が高い取り組みに満足していないということは、現在のやり方を変えていく必要がある項目

上記のそれぞれの領域に該当した項目の満足度や重要度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に満足度や重要度が高い低いということとなります。

施策別散布図

